

教育科目	トリミング実習 I		教育内容	トリミング実習			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	59 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 各犬種の特徴に応じた美容技術を習得する。						
授業概要	さまざまな犬種それぞれの特徴を發揮する美容法を実習によって習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1回・後期 回		
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』(緑書房)						

教育科目	トリマー演習 I		教育内容	トリマー演習			演習
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	19 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. トリミングサロンで実施しているサービスを理解し、習得する。						
授業概要	パック、温泉浴などサロンでしているサービスを実践的に行い理解、習得する						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』(緑書房)						

教育科目	グルーミング実習 I		教育内容	グルーミング実習			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	19 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 爪切り・耳掃除・ブラッシング・シャンプーなどの基本的グルーミング作業を習得する。						
授業概要	ペットの健康を維持するためのグルーミング法を実習によって習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』（緑書房）						

教育科目	動物美容学 I		教育内容	愛犬美容学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	16 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 動物美容に関わる基礎知識を習得し、各犬種に対する理解を深めそれぞれの特徴にあった美容法を習得する。						
授業概要	グルーミング用語や犬種の特徴、各犬種の美容法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 ( )			
	小テスト	前期 10 回	後期 回	前期	回	後期	回
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房）						

教育科目	社会動物総合実習 I		教育内容	ドッグトレーニング、 動物愛護実習 アニマルセラピー実習		実技 実習
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	23 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. ドッグトレーニング、動物愛護実習、アニマルセラピー実習などを通じ社会で必要とされるさまざまなペットに関わるスキルを習得する。					
授業概要	<p>ペットのしつけについて学びトレーニング方法を実践する。</p> <p>保健所内での管理動物のグルーミング等を行い動物愛護精神を育む。</p> <p>接客接遇を実践し実務実践力を習得する。</p> <p>動物介在活動を行う。</p>					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（実習評価）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	<p>評価方法</p> <p>定期試験（ドッグトレーニング）および実習評価、平常点により判定する。</p>					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<p>実務経験を有する・専門知識や資格等を有する</p> <p>ペットサロンでの実務経験。</p> <p>実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。</p> <p>犬の訓練士としての実務経験。</p> <p>訓練士としての知識・技術を教授。</p>					
使用 テキスト等	小西伴彦『犬のしつけ学（応用と基礎）』（インターズー）					

教育科目	愛玩動物管理学 I		教育内容	愛玩動物管理学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 愛玩動物飼養管理士 2 級の取得						
授業概要	動物愛護の歴史、動物関連法、犬・猫・その他の小動物の生態、習性等の知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 ( )			
	小テスト	前期 12 回	後期 回	前期 回	後期 回		
	評定方法	定期試験および小テストの成績、平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	愛玩動物飼養管理士認定委員会監修『愛玩動物飼養管理士 2 級』 公益社団法人日本愛玩動物協会						

教育科目	飼育管理実習 I		教育内容	飼育管理			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健全な動物飼育方法を習得し、実践する。						
授業概要	学校飼育動物の飼育管理を中心とした実践を行い、飼育技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 実技試験評価および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	生態学 I		教育内容	生態学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	12 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 動物の体の構造・機能について学び、生命体としての動物を理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。						
授業概要	動物の体の構造や機能、生態、習性についての知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	浅野妃美・浅野隆司『機能形態学入門 改訂新版』(インターズー)						



教育科目	健康管理基礎学 I		教育内容	健康管理基礎学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1 年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 健康な動物に対する必要なケアの意義を理解し、飼い主に指導・説明ができる。						
授業概要	飼う上で犬猫の習性、病気を知り快適で安全な飼育環境を学ぶ。 飼い主へ飼育指導が行えるように学習。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	6 回・後期	回	前期	1 回・後期	回
	評定方法 定期試験及び小テストにて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 動物病院で動物看護師としての実務経験 実務経験を活かして動物分野の医療・検査・接客対応等の幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	浅野妃美・浅野隆司『コンパニオンアニマルの(新)健康管理学』(インターズー)						

教育科目	動物看護実習 I		教育内容	看護実習			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	31 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 犬猫の診察補助に必要な基本的技術を習得する。						
授業概要	保定方法などの基礎的な知識や専門的検査の方法・手順を学び、実際に飼育動物の検査をし技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 実技評価及び平常点にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	動物看護師養成専修学校教科書作成委員会編 『動物看護実習テキスト 第2版』(インターズー)						

教育科目	企業体験実習 I		教育内容	企業体験実習 I			実習
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	16 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 企業での実戦の中で、学んできたことを活かす。 2. 自分の能力を知り、さらなる高みを目指す。						
授業概要	インターンシップ 実際の中で、現場のプロから指導を受ける。(事前指導1コマ、事後指導1コマを含む)						
成績評価 方法	定期テスト	なし		その他	(レポートなど)		
	小テスト	なし		実習前、実習後レポート提出			
	評定方法 企業からの評価と出席率および提出物の評価による。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する 専門知識や資格等を有する 企業等担当者の実務経験 企業担当者が実務経験を活かして職業観や職務内容について教授						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	トリミング実習Ⅱ		教育内容	トリミング実習			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	48 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 各犬種の特徴に応じた美容技術を習得する。						
授業概要	さまざまな犬種それぞれの特徴を發揮する美容法を実習によって習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（実技試験評価）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』（緑書房）						

教育科目	トリマー演習Ⅱ		教育内容	トリマー演習			演習
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. トリミングサロンで実施しているサービスを理解し、習得する。						
授業概要	パック、温泉浴などサロンでしているサービスを実践的に行い理解、習得する						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』(緑書房)						

教育科目	グルーミング実習Ⅱ		教育内容	グルーミング実習			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	32 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 爪切り・耳掃除・ブラッシング・シャンプーなどの基本的グルーミング作業を習得する。						
授業概要	ペットの健康を維持するためのグルーミング法を実習によって習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』（緑書房）						

教育科目	動物美容学Ⅱ		教育内容	愛犬美容学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	12 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 動物美容に関わる基礎知識を習得し、各犬種に対する理解を深めそれぞれの特徴にあった美容法を習得する。						
授業概要	グルーミング用語や犬種の特徴、各犬種の美容法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 ( )			
	小テスト	前期	回・後期	10 回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房）						

教育科目	社会動物総合実習Ⅱ		教育内容	ドッグトレーニング、 動物愛護実習、 アニマルセラピー実習、 キャットグルーミング実習		実習 実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	26 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. ドッグトレーニング、動物愛護実習、アニマルセラピー実習、キャットグルーミング実習などを通じ社会で必要とされるさまざまなペットに関わるスキルを習得する。					
授業概要	<p>ペットのしつけについて学びトレーニング方法を実践する。</p> <p>保健所内での管理動物のグルーミング等を行い動物愛護精神を育む。</p> <p>動物介在活動を行う。</p> <p>各猫種の美容技術を習得する。</p>					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（実習評価）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
評価方法	<p>評定方法</p> <p>定期試験（ドッグトレーニング）および実習評価、平常点により判定する。</p>					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<p><b>実務経験を有する</b>・<b>専門知識や資格等を有する</b></p> <p>ペットサロンでの実務経験。</p> <p>実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。</p> <p>犬の訓練士としての実務経験。</p> <p>訓練士としての知識・技術を教授。</p>					
使用 テキスト等	小西伴彦『犬のしつけ学（応用と基礎）』（インターズー）					



教育科目	愛玩動物管理学Ⅱ		教育内容	愛玩動物管理学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 愛玩動物飼養管理士2級の取得						
授業概要	動物愛護の歴史、動物関連法、犬・猫・その他の小動物の生態、習性等の知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 ( )			
	小テスト	前期	回・後期	12 回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	愛玩動物飼養管理士認定委員会監修『愛玩動物飼養管理士2級』 公益社団法人日本愛玩動物協会						

教育科目	飼育管理実習Ⅱ		教育内容	飼育管理			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健全な動物飼育方法を習得し、実践する。						
授業概要	学校飼育動物の飼育管理を中心とした実践を行い、飼育技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (実技評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1 回		
	評定方法 実技試験評価および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	生態学Ⅱ		教育内容	生態学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	12 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 動物の体の構造・機能について学び、生命体としての動物を理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。						
授業概要	動物の体の構造や機能、生態、習性についての知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	6 回	前期	回・後期	1 回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	浅野妃美・浅野隆司『機能形態学入門 改訂新版』（インターズー）						

教育科目	健康管理基礎学Ⅱ		教育内容	健康管理基礎学			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健康な動物に対する必要なケアの意義を理解し、飼い主に指導・説明ができる。						
授業概要	飼う上で犬猫の習性、病気を知り快適で安全な飼育環境を学ぶ。 飼い主へ飼育指導が行えるように学習。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	6回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び小テストにて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 動物病院で動物看護師としての実務経験 実務経験を活かして動物分野の医療・検査・接客対応等の幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	浅野妃美・浅野隆司『コンパニオンアニマルの(新)健康管理学』(インターズー)						

教育科目	動物看護実習Ⅱ		教育内容	看護実習			実技
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	26 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 犬猫の診察補助に必要な基本的技術を習得する。						
授業概要	保定方法などの基礎的な知識や専門的検査の方法・手順を学び、実際に飼育動物の検査をし技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技評価及び平常点 (検定試験結果を含む) にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	動物看護師養成専修学校教科書作成委員会編 『動物看護実習テキスト 第2版』(インターズー)						

教育科目	ペット保険学		教育内容	ペット保険			講義
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. ペット保険に関する知識や商品知識などを習得し、日本損害保険協会主催の損害保険募集人試験の合格を目指します。						
授業概要	ペット保険の知識全般と顧客ソフトの操作を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 資格試験及び平常点（外部講師を招いての講義を含む）にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> ペットショップでペット保険登録販売者としての実務経験						
使用 テキスト 等							

教育科目	ビジネススキル I		教育内容	ビジネススキル I			講義	
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位	
授業目標	1. ビジネスマナーを習得する。 2. ビジネス能力検定ジョブパス 3 級を目指す。							
授業概要	職業人として必要なコミュニケーションの基本及び仕事の実戦について学ぶ。また、ビジネス能力検定 3 級の練習問題や過去問題を通して理解を深める。							
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期 2 回	後期	回	前期	回	後期	回
	評定方法 定期試験結果、小テスト、提出物、出席率をもって評価を行う。							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 民間企業における接客業の実務経験 実務経験を活かし、ビジネスマナーや面接に生かせる知識を教授							
使用 テキスト等	一般社団法人職業教育キャリア財団『ビジネス能力検定公式ジョブパス 3 級公式テキスト』 (日本能率協会マネジメントセンター) 一般社団法人職業教育キャリア財団『ビジネス能力検定公式ジョブパス 3 級公式問題集』 (日本能率協会マネジメントセンター)							

教育科目	キャリア演習 I		教育内容	キャリア演習 I ・ 人間性と社会性 I			演習
学 科 開講学年	動物 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む)理解 2. 就職活動に必要な知識・マナーの習得 3. 採用試験に向けた面接の基本を習得 4. 就職活動早期取り組みへの意識付け 5. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 6. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。						
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける。また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						



教育科目	商業・社会 I		教育内容	新入生研修 I ・ 総合体育 I ・ 企画 マネジメント I ・ 総合体育 II			演習
学 科 開講学年	動物学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 2. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 3. 活動を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。						
授業概要	新入生研修、総合体育、学習発表会						
成績評価 方法	定期テスト	なし		その他（レポートなど）			
	小テスト	なし		なし			
	評定方法 出席率及び取り組み状況の評価等の平常点をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 動物病院で動物看護師としての実務経験 新入生研修・学習発表会において、実務経験を活かして動物分野の医療・検査・接客対応等の幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	自主製作教材						

教育科目	実践ボランティア		教育内容	ボランティア活動			演習
学 科 開講学年	動物学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育む。						
授業概要	地域社会や企業・施設などでボランティア活動を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（報告書など）			
	小テスト	前期	回・後期	回	実施後 1 回		
	評定方法 報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	ボランティア先の関係者担当						
使用 テキスト等	なし						

教育科目	MOS 演習 I		教育内容	情報リテラシー I			演習
学 科 開講学年	動物学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 基本的なパソコン機能を実務で使いこなせる能力を習得する。 2. Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成できる。						
授業概要	基本的なパソコン操作を学ぶ。 Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成する。						
成績評価 方法	定期テスト	なし		その他 (レポートなど)			
	小テスト	なし		なし			
	評定方法 平常点と出席率をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	本郷 PC 塾「30 レッスンで合格!MicrosoftOffice2016」(技術評論者)						